



2015年3月15日、当会で寄贈した「ワネコン・レーグ地区 NO.2 学校」の開校式に出席

## ミャンマーに小学校を作ろう！

NPO 法人 宮城・ミャンマー友好協会は、  
ミャンマーの子供たちのために「学校寄贈」に取り組んでいます。

ミャンマーではまだまだ学校が不足しています。あっても設備が不十分だったり、特に地方では建物自体が老朽化していたりと、苦しい経済事情から教育環境が整わず、未来ある多くの子供達に、今なお勉強機会さえ満足に得られていないのが現状です。

折しも、仙台在住のミャンマー人、スーザ・ミョータンさんが、ミャンマー第二の都市であるマンダレー市に、自身の長年の夢であった小学校を個人で寄付し大変喜ばれておりました。そして、彼女が学校を寄付することになったいきさつやミャンマーの実情を知った団体や個人の方々がこの活動に賛同いただき、同じく小学校を寄贈されました。

その後も、戦時中命を助けていただいたミャンマーの人々への恩返しをと、宮城県内の戦友会・遺族会の方々のご支援などにより、現在までにあわせて **15の小学校が、宮城県の方々によって新設(寄贈)**されています。

私たちは寄贈された全ての学校に訪問して来ました。どの学校でも大歓迎を受け、場所によっては町をあげての歓迎を受けました。どの子も新しい校舎で学べる喜びに満ち、生き生きとしたその顔は皆瞳が輝いていました。

私たちは、ミャンマーに今なお不足している小学校を継続して建設(寄贈)する運動を積極的に行っております。

この「次世代への支援」をより多くの方々にご理解とご賛同をいただき、宮城からそして東北から、ミャンマーの多くの子供たちに明るい未来を手渡していきたいと心より願っております。

特別非営利活動(NPO)法人  
宮城・ミャンマー友好協会  
理事長 木村 裕